

おおもとウィメンズクリニックレター

Vol.10 10周年記念版

10周年に際して

院長 大本裕之

「すべての女性のためのホームドクター」を基本理念として開院以来丸 10 年が経ちました。色々なことがあり、多くの人に助けられながら、しかし、今振り返ってみれば、充実した、時のながれのはやい 10 年でした。理念を共有してくれる職員とともに診療することができました。そのなかで、今一緒にいたであろう若い職員を不慮の事故で失ったことは痛恨の極みでした。クリニックという場で私達仲間が人生の一部を共有した 10 年でありました。

クリニックの看板は駐車場と芦田川大橋新涯側の道標としたものだけです。沢山の看板をあげなくても、そのなかで多くの患者さまがロコミを中心として来院いただき、さらにその輪が大きくなってきたことは大変心強いことでした。患者さまのお声に力をいただきながら、見直しをし診療できたことが最も大きな力だったことは間違いありません。

つぎの 10 年に向かって、私たち一同は日々研鑽しながら医療の質を高め、患者さまに必要とされるクリニックであるよう努力していきます。これからもよろしくお願い申し上げます。

一つの節目

副院長 大本佳恵

2017年2月5日をもって、わがクリニックは丸 10 年を迎えました。10 年ひと昔とは言いますが、本当に開院前や開院直後、これまでの私たちの周りで起こった出来事や変化が昨日のことのように思われます。いつもこの時期になると初心に戻って再考することが多いですが、今年はまだ大きな夢を持って理想のクリニックを思い描いていた開院前の気持ちに振り返る事が多かったです。あの頃の熱い気持ちが維持できているか、もっと発展できる事はないか、患者様への対応も「いたれり、つくせり」できているか…。ただ、この 10 年間で私自身の手術や体調不良との戦いが起こるとは夢にも思わず、患者様やクリニック全体に大きな迷惑をかけてしまったことは心外でした。院長にもスタッフにも大きな負担をかけてしまい、何とか今は気力で乗り切れるまでにはなりましたが「私ももうそんな年頃だな・・・」と、一患者になってしまいました。でも肉体的には衰えはあるものの、開院前の熱い気持ちはそのままです。

「やっぱり考え方は間違っはなかつたんだ」「必要とされているクリニックなんだ」

「あの時の気持ちのままで、バージョンアップしていけばいいんだ」

その思いがきっと多くの婦人科嫌い、婦人科苦手の患者様にも届いて、大きなクリニックネットワークが構築できたんだと思います。

昨年、25 年ぶりにカープがリーグ優勝しました。広島県民+カープファンは一つになりカープを応援し、歓喜に沸きました。おおもとウィメンズクリニックも一つになり、ひとりでも多くの患者様の「ホームドクター」になれるよう、精進していきます。次の 10 年後も楽しみに、婦人科への価値観がさらによい方向に向かいますように。。。。。



福山市長受賞
花名：
デイム和子
福山市長
枝廣直幹様

ばらはクリニックのシンボルです



〒720-0832 福山市水呑町 4447

TEL: 084-920-5155

<http://ohwc.jp>

2016年度 クリニックのデータ

2016年は新規登録患者様 1129人、11689人の患者様に来院いただきました。例年同様に受診理由の多くは“ロコミ”でした。クリニックネットワークが定着して、当院がこの地域に認められてきたことを嬉しく思います。子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患の多くは倉敷成人病センター様の腹腔鏡下手術により患者様のQOLを保ちながら治療がなされました。悪性疾患は福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院、倉敷成人病センター様などと病診連携をはかり子宮頸部高度異形成および上皮内癌10名、浸潤子宮頸がん3名、子宮体がん4名、卵巣がん2名、乳がん1名の患者さまが適切な医療を受けることが出来ました。婦人科検診希望の増加が癌発見数の増加に関連しています。不妊症に対しては患者様が增加しており、子宮卵管造影検査を39名に行い、排卵誘発、タイミング法、人工授精までしか扱っていませんが、ストレスが大きくかからないような診療に配慮しています。妊娠成立のなかに双胎3例(二絨毛膜2、一絨毛膜1)ありました。高度生殖補助医療は倉敷成人病センター様などと連携を図り、よい成績を収めています。LEP製剤(低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬:月経困難症治療薬およびピル)は月平均235シート処方较去年より減少しています。これはディナゲスト処方、ミレーナ挿入に一部変わったためと思われます。多くの女性の生活改善に役立っています。血栓症に対しては厚生労働省、学会の注意に従って適正使用を行い、下肢静脈エコーの充実と院内で末梢血、d-dimer測定を可能としています。代替医療としてのアロマセラピー・エステは現在休止しています。

スタッフより

看護師

患者様をはじめクリニック携わって下さった皆様のおかげで無事、開院10年を迎えることになりました。ありがとうございます。昨年カーブは悲願のリーグ優勝を25年ぶりに果たしました。なかでも心に残っているのは小窪選手会長の言葉です。「キャンプ地日南の餌肥(おび)杉はまとまると強固になり、25年かけて育てば船の材料になるそうです。チーム一丸となり一隻の船になろうと皆に働きかけて、力強い船になれた。」という話です。私たちも理念である「すべての女性のためのホームドクター、クリニック」を胸に一丸となり、11年目もがんばってまいります。

看護師

今年は酉年。クリニックも10周年を迎え節目の年になります。酉年にちなみ、患者さまが当院で元気をとり戻し、色とりどりの幸せにうっとり包まれますように……。私自身も今まで吸収したものを土台に大きく羽ばたける一年にして参ります。



看護師

クリニックレターを書く時期になると看護師としての自分がすべき役割を全うできたか自身を振り返ることができます。日々の仕事に流され、反省することが多々あります。10周年を節目として、クリニックの理念や私がやるべき役割を再度考えて患者様に信頼されるように努力していきます。

医療事務

開院10周年という節目の年に私も勤続5周年を迎えました。節目の年だからというわけではございませんが、これまで以上に親身になって患者様の声に耳を傾けていければと思います。医師に聞きにくいことなどあれば、いつでも私達にお声かけください。

医療事務

昨年もたくさんの患者様とお会いしましたが、「ありがとう」、「安心した」と笑顔で帰られる姿を見るたびにこの仕事をして良かったと思います。新しい年を迎えましたが、本年も昨年同様、患者様を笑顔にできるような対応をこころがけてまいります。